

平成26年11月25日
株式会社日本政策金融公庫

民間金融機関との連携
～協調融資の実績を中心として～

1. 業務連携・協力にかかる覚書締結状況

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）は、民間金融機関の補完を旨としつつ、これまで多くの民間金融機関との業務連携を進めており、平成26年9月末時点で、445機関と業務連携・協力にかかる覚書を締結しています。

表1 業務連携・協力にかかる覚書締結機関数（平成26年9月末時点）（単位：機関）

都市銀行	地方銀行	第二地方銀行	信用金庫	信用組合	その他	合計
3	61	39	254	42	46	445

平成26年度からは、成長戦略分野等の中でも、創業や事業再生、農林漁業など民間金融機関から連携をより求められる分野において、連携の実効性を高めるため民間金融機関と連携・協調して融資するスキーム作りを中心に積極的に取り組んでいます。

2. 協調融資スキームの構築実績

協調融資スキームを構築した民間金融機関数は、平成26年上半期で105機関増加し、9月末時点で、248機関にのびります。

（参考）協調融資スキームの内容

- ・協調融資として取り扱う案件の具体的な紹介ルールの取り決めがなされているもので、中にはそれぞれの機関の融資制度を組み合わせることで新商品の創設まで至っているものもあります。

表2-1 機関別「協調融資スキーム」の構築機関数（平成26年9月末時点）（単位：機関）

都市銀行	地方銀行	第二地方銀行	信用金庫	信用組合	その他	合計
1	41	31	151	21	3	248

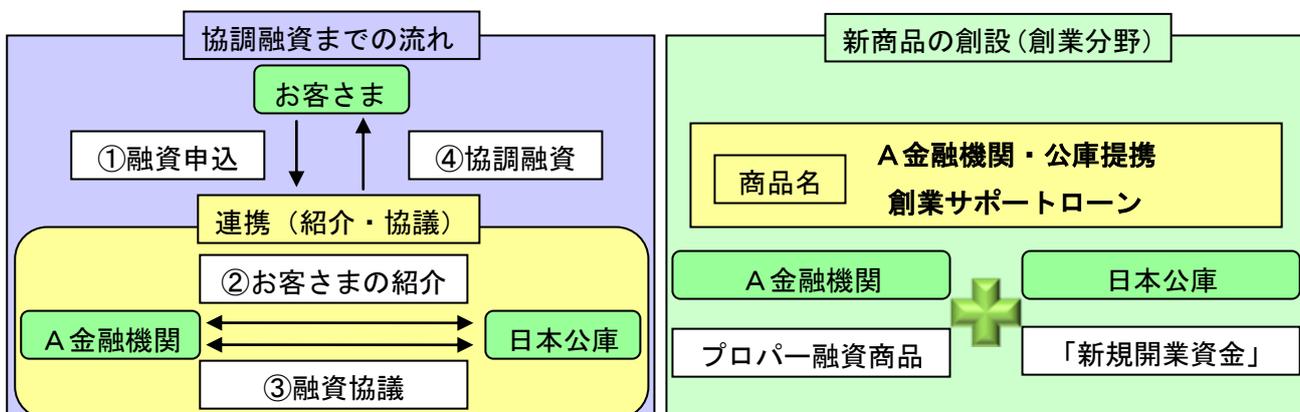
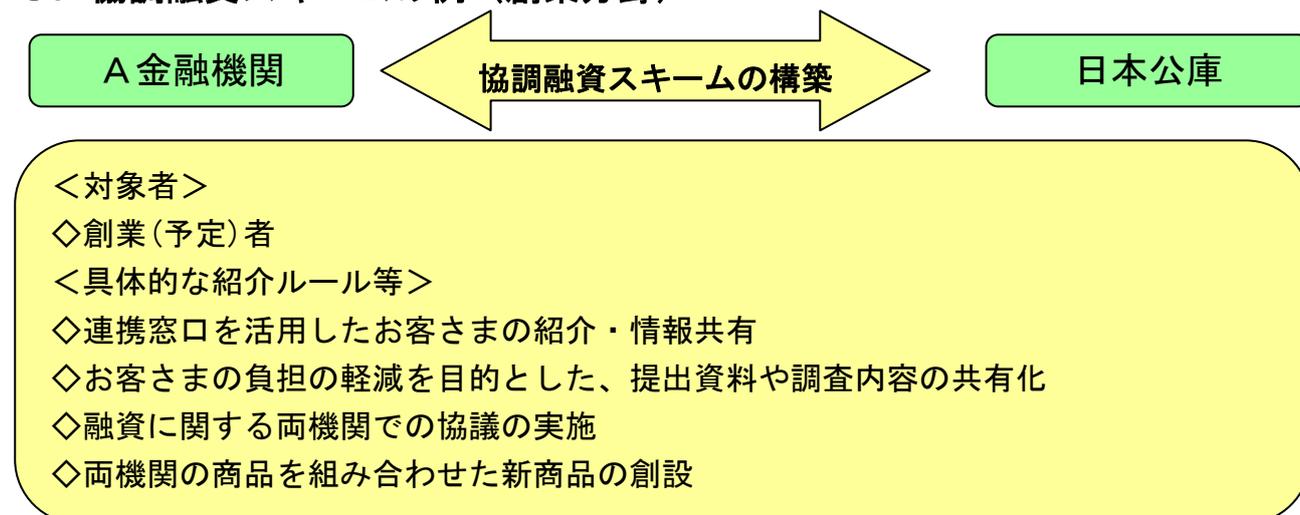
表2-2 分野別・機関別「協調融資スキーム」の構築機関数（平成26年9月末時点）（単位：機関）

連携分野	都市銀行	地方銀行	第二地方銀行	信用金庫	信用組合	その他	合計
小規模事業者（創業等）	0	27	22	125	20	2	196
中小企業（再生等）	0	23	22	62	10	1	118
農林漁業	1	22	16	36	7	1	83
スタンバイ・クレジット制度（注1）による海外展開	0	11	14	20	0	0	45
総合（注2）	0	26	23	65	10	1	125

（注1）中小企業・小規模事業者の海外現地法人等が、日本公庫と提携する海外金融機関から現地流通通貨建て長期資金の借入を行う際、その債務を保証するために日本公庫が信用状を発行する制度。平成25年10月から、民間金融機関が日本公庫の海外ネットワークを制度インフラとして活用できるよう制度を拡充。

（注2）小規模事業者（創業等）及び中小企業（再生等）を支援するなど、複数の分野で構築したスキーム。

3. 協調融資スキームの例（創業分野）



4. 協調融資の実績

日本公庫の平成 26 年上半期における民間金融機関との協調融資（注）実績は、4,883 件、2,351 億円となりました。

表 3 分野別・機関別 協調融資実績（平成 26 年上半期）（単位：件・億円）

連携分野		都市銀行	地方銀行	第二地方銀行	信用金庫	信用組合	その他	合計
小規模事業者 （創業等）	件数	137	796	476	1,650	159	2	3,220
	金額	22	107	59	202	18	0	411
中小企業 （再生等）	件数	258	650	155	189	23	19	1,294
	金額	292	659	177	163	20	24	1,338
農林漁業	件数	25	121	17	36	9	157	365
	金額	74	262	37	40	3	180	599
スタンバイ・ クレジット制度 による海外展開	件数	1	2	1	0	0	0	4
	金額	1	0	0	0	0	0	1
合計	件数	421	1,569	649	1,875	191	178	4,883
	金額	390	1,030	274	406	43	205	2,351

（注）同一目的の資金計画に対し、日本公庫と民間金融機関が協議を経たうえで、両者が融資（保証）を実行または決定したもの（公庫で集計したもの。両者の融資実行・決定時期が異なる場合も含む）。

5. 協調融資の事例

企業名	農事組合法人 インダストリー・都城	所在地	宮崎県	業種	菌床シイタケ生産
連携金融機関	西日本シティ銀行		日本公庫の 支援分野	農林漁業	
取組みの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年 11 月に設立された新設法人(組合員 6 名)。 ・農山漁村活性化プロジェクト支援交付事業(補助事業)を活用し、菌床シイタケ栽培施設(3,024 m²)を建設。平成 26 年 4 月から生産開始。大手菌床シイタケ生産業者傘下で販路確保、営農指導を受けることとし年間生産量は 288 トンを見込む。地域産業の活性化や雇用創出を期待。 ・事業費 685 百万円に対し、銀行から公庫に協調融資の持ちかけがあり、西日本シティ銀行が 97 百万円、公庫が 270 百万円(委託貸:南日本銀行扱)を融資。国から 318 百万円(補助)を調達。 ・西日本シティ銀行は、平成 26 年 4 月 4 日に自行HPIにて当該協調融資について、ニュースリリースを実施。 				

企業名	A社	所在地	東北地方	業種	食品製造業
連携金融機関	B銀行(地方銀行)		日本公庫の 支援分野	再生	
取組みの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・中小小売店の相次ぐ淘汰や大手スーパー等からの値下げ要請及び原材料の高騰等により業況が大幅に悪化。 ・そこでB銀行が中小企業再生支援協議会に持ち込み、同機関関与のもと再生計画を策定。収支改善を進め再生を図ることとなった。 ・かかる中、資金繰りの安定化を目的に公庫が資本性ローンを融資し、取引銀行による協調融資が実施され、再生計画の実現を後押しするものとなった。 				

企業名	(株)オチガビ	所在地	北海道	業種	ワイン用ブドウの生産
	(株)オチガビワイナリー				ワインの製造、レストランの運営
連携金融機関	北洋銀行		日本公庫の 支援分野	農林漁業、中小企業	
取組みの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイン専用ブドウの生産からワイン醸造、レストランでの提供まで一貫したサービスの提供を目的として(株)オチガビ及び(株)オチガビワイナリーを設立(両社は代表者が同じグループ企業)。 ・(株)オチガビにブドウ農地造成及び農業用機械購入資金として、公庫が融資を実行した(平成 25 年 11 月)。 ・(株)オチガビワイナリーにレストラン建設資金として、公庫と北洋銀行等が協調して融資を実行した(平成 26 年 7 月)。 				

企業名	マルカワみそ（株）	所在地	福井県	業種	味噌製造業
連携金融機関	福邦銀行		日本公庫の 支援分野	農林漁業	
取組みの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国産大豆を栽培している農家と契約し、化学調味料を使用しない有機味噌を製造。新工場を建設し味噌の増産体制を整えるとともに、商品の高品質化を図ることとし、国産有機大豆の取引量増加による地域農業の活性化を期待。 ・企業側からの要望を受け、福邦銀行と公庫で協調融資対応することとなったもの。 ・福邦銀行はプロパー資金、公庫は「中山間地域活性化資金」の融資を実行した。 ・福邦銀行は、平成 26 年 7 月 31 日に自行HPにて当該協調融資について、ニュースリリースを実施。 				

企業名	長谷川 友子	所在地	京都府	業種	美容業
連携金融機関	京都信用金庫		日本公庫の 支援分野	創業	
取組みの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅の近くには高齢者が多く居住しているが、高齢者が利用しやすい美容室がないことから、店舗の内装、カット椅子、シャンプー台等バリアフリー対応とし、高齢者や体の不自由な人向けの美容室を自宅に開設する計画。 ・創業者が京都信用金庫に相談、京都信用金庫が公庫との協調融資スキームを案内し協調融資となったもの。 ・創業資金として京都信用金庫と公庫の創業者向けパッケージ融資商品「公庫から、はじまる」（注）で協調融資を実行した（平成 26 年 7 月）。 <p>（注）京都信用金庫の創業者向けプロパー融資商品「ここから、はじまる」と日本公庫の「中小企業経営力強化資金」をパッケージ化した融資商品。</p>				

企業名	山河 慶之	所在地	岡山県	業種	飲食店
連携金融機関	笠岡信用組合		日本公庫の 支援分野	創業	
取組みの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店での勤務経験を生かして、笠岡市内の中心部で飲食店を開業する計画。 ・地元笠岡産の無農薬野菜を使った洋食を提供し、地域活性化に貢献する。 ・創業者が笠岡信用組合に相談、笠岡信用組合が公庫との協調融資スキームを案内し協調融資となったもの。 ・創業資金として笠岡信用組合は創業者向け金融商品の「かさしん創業ローン」、公庫は「女性、若者/シニア資金」で融資を実行した（平成 26 年 8 月）。 				